最終講義

音声語処理の研究と教育35年

工学部 知能情報コース 高良富夫 2018年3月2日

本日の話

研究について

- 高校時代から大学時代
- •博士研究論文
- •音声認識
- •琉球語分析
- 創造的学習による言語の獲得のモデル

教育について

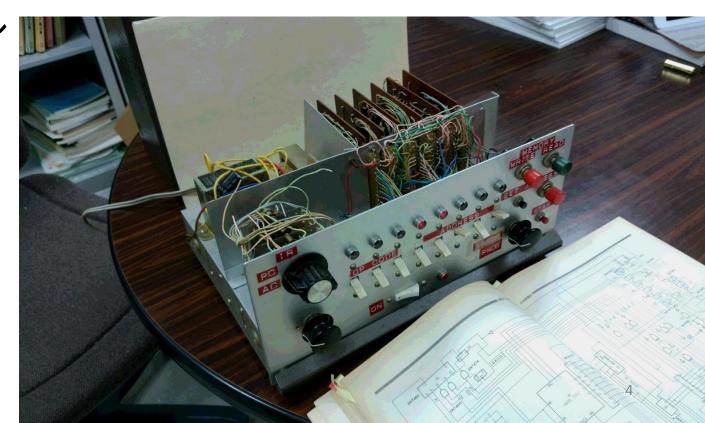
- •「ひまわり」の不思議
- コンピュータがしゃべる琉球語
- ・母音の音色を創る
- ハートのこもった声

那覇高校時代

- ・2年生:物理100点取れれば物理学科へ
 - 一>98点:波動 波長か振動数か
 - 3年次:2連続100点、電磁気
- ・3年生:共振振り子の研究
 - 一>青少年科学展で最優秀賞

鹿児島大学物理学科時代

- ・留年したため大学2年から研究室に:電源製作
- クラブ:プログラマブルコンピュータをMSIで自作
- ディジタル回路
- インターフェース誌論文



東京工業大学大学院時代

- ・学位論文「心理物理的パラメータを用いる音声自動認識の基礎研究」(今井聖研究室)
- ・音声パラメータの問題聴覚心理に基づいたものであるべき
- ・不特定話者の問題 確率統計的モデル
- ・調音結合の問題 なぜ人間には音素がはっきり聞こえるか

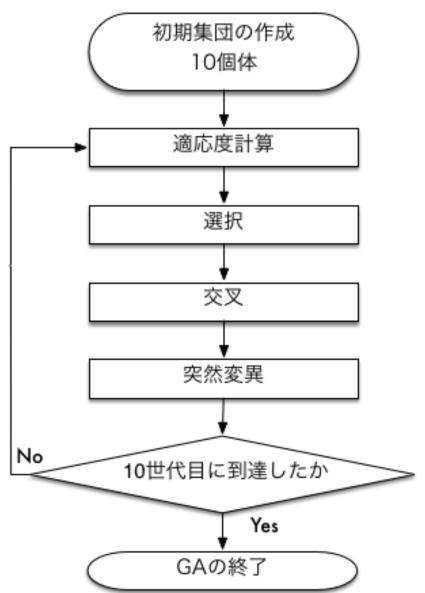
私の代表的研究:主要国際会議 発表

- 遺伝的アルゴリズム(GA)を用いた音声認識
- 琉球語研究
- アジアなどの言語の分析と合成
- ・ 創造的学習による音声言語獲得のモデル

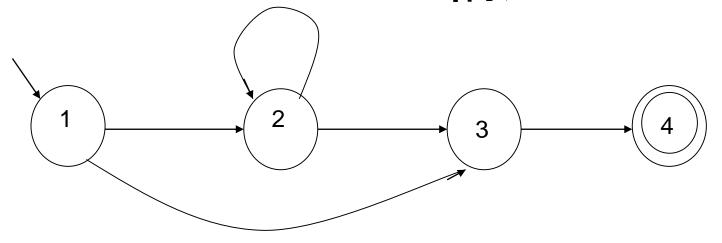
遺伝的アルゴリズム(GA)を用いる 音声認識

- ICSLP 1994: Yokohama, Japan 多数状態マルコフモデル
- IEEE ICASSP 1997, Munich, Bavaria, Germany GAによるマルコフモデルの構造選択
- ICSLP 1998: Sydney, Australia GA-連続型マルコフモデル

遺伝的アルゴリズム(GA)

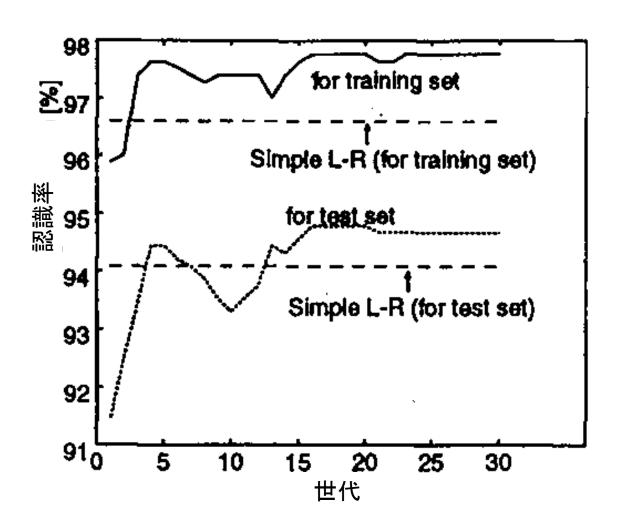


隠れマルコフモデルの構造のコード化



0110 0110 0001 0000

結果:認識率



10

Figure 5: Proposed method

琉球語研究

• EUROSPEECH 1995: Madrid, Spain

声門破裂音の分析

INTERSPEECH 2000: Beijing, China

歌声合成



ISBN978-4-89742-207-7 C0240 ¥980E

定価:980円+税 琉球新報社



1920240009801

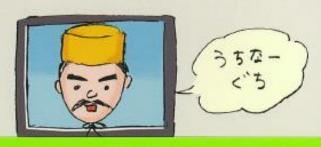
音声言語処理の専門家がやさしく導く 琉球ことばの末踏の地

人間と機械がことばを話し聴く仕組み 「っ」の音で始まる珍しいことば コンピュータが日本語の文章を琉球語で読み語る 情報処理で明らかになる日本語と琉球語の家系図 いつでもどこでも無料で利用できる琉球語をしゃべる辞典 ウチナーグチコンピュータが世界のことばをしゃべる

琉球 琉球ことばの ことば 科学 0 科学 情報時代の琉球語探検 -

高良 富夫

12



本書の主な内容

音声の分析と合成 第1章

琉球語の音声の分析 第2章

第3章 琉球語の音声合成

第4章 琉球語の翻訳

琉球語の統計処理 第5章

第6章 琉球語音声データベース

第7章 琉球語からアジア等の言語へ 高良

情報時代の琉球語探検

琉球新教社

コンピュータが琉球語をしゃべり 「おもろさうし」を謡う*!*?

沖縄のことばは、古代日本語の特徴を色濃く残すなど、 日本語の系統・体系を解明する上で、言語学上とても 重要な位置を占めています。──まえがきから

琉球新報社

目次

- 第1章 音声の分析と合成
- 人間と機械がことばをしゃべり聴く仕組み
 - 1節 言語音声の分析
 - •スマートフォンと音声言語処理
 - 2節 言語音声の人工合成
 - フィルタを通して作る色々な声
- 第2章 琉球語の音声の分析
- 一琉球語のアクセントと「っ」の音で始まる珍しいことば
 - 1節 琉球語の基本周波数パターンの分析
 - 甲子園での沖縄の名前の発音は変?

2節 声門破裂音の合成による分析

• 君と豚は似たもの同士

第3章 琉球語の音声合成

- ーコンピュータが琉球語をしゃべり「おもろさうし」を詠う一
 - 1節 琉球語のテキスト音声合成システム
 - •なぜ音声合成システムを作るのか
 - 2節 琉球秘曲の分析と音声合成
 - •現代まで伝承された琉球王府の秘曲

第4章 琉球語の翻訳

ーコンピュータが日本語の文章を琉球語で読み語りする―

第5章 琉球語の統計処理

-情報処理で明らかになる日本語と琉球語の家系図 -

第6章 琉球語音声データベース

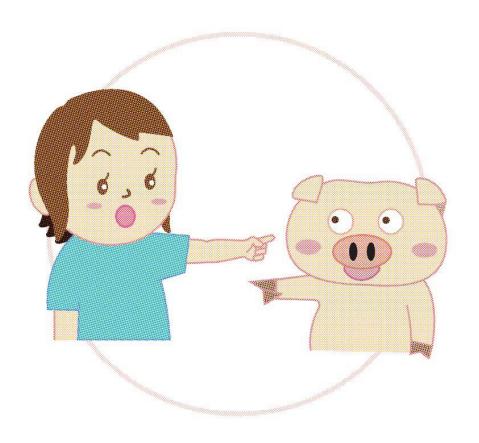
―いつでもどこでも無料で利用できる琉球語をしゃべる辞典―

第7章 琉球語からアジア等の言語へ

ーウチナーグチコンピュータが世界のことばをしゃべる—

琉球語の声門破裂音の分析

・君と豚は似たもの同士



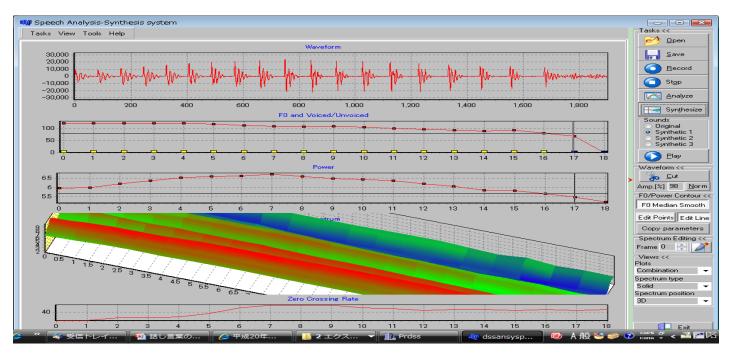
「つ」で始まる奇妙なことば

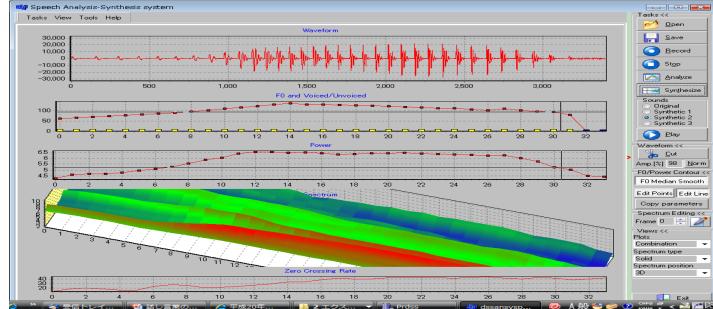
最小対立語

```
「/'waa/幅(わ一)

/'waa/豚(っわー) 声門破裂音がある
```

話題: 国際会議での回答 /ʔjaa ja ʔwaa jan/(君は豚です) /ʔjaa/ っや―





/'jaa/ や—

声門で破裂する琉球語の珍しい音

最小対立語を 基本周波数 スペクトル パワー(振幅)

に分解、組み合わせて合成。

基本周波数のもとになっている音素に 聞こえる

ー>基本周波数で音韻性(音色)が決まる

アジアなどの言語の分析と合成

- IEEE ICASSP 2002, Orlando, Florida, USA タイ語
- IEEE ICASSP 2004, Montreal, Quebec, Canada ベトナム語
- INTERSPEECH 2006: Pittsburgh, PA, USA バングラデシュ語. エチオピア語

Ryukyu and Asia



Thai speech synthesis

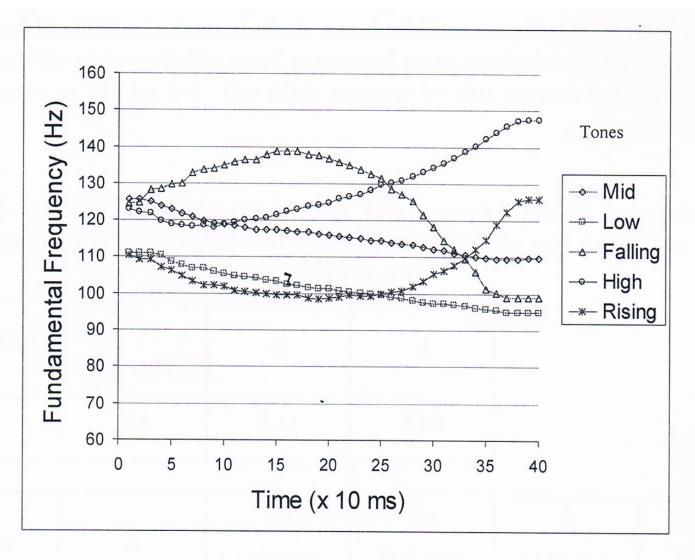
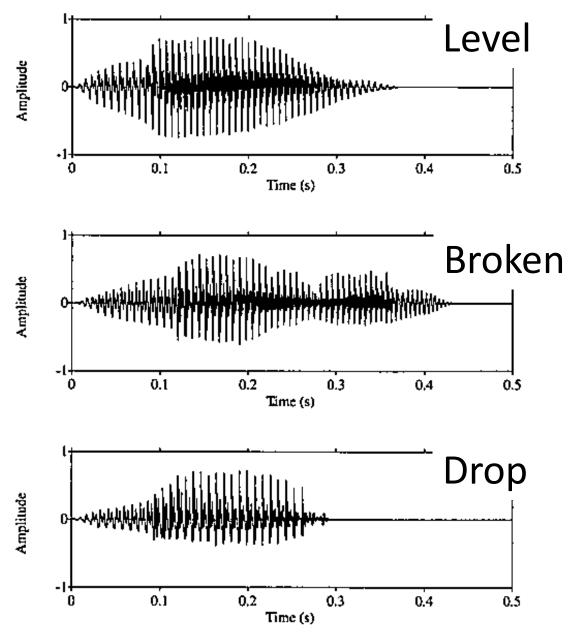


Figure 5-6: The average F₀ contours of five Thai tones in Hertz scale. ²²

ベトナム語

• Broken声調 琉球語の声門破 裂音で解明



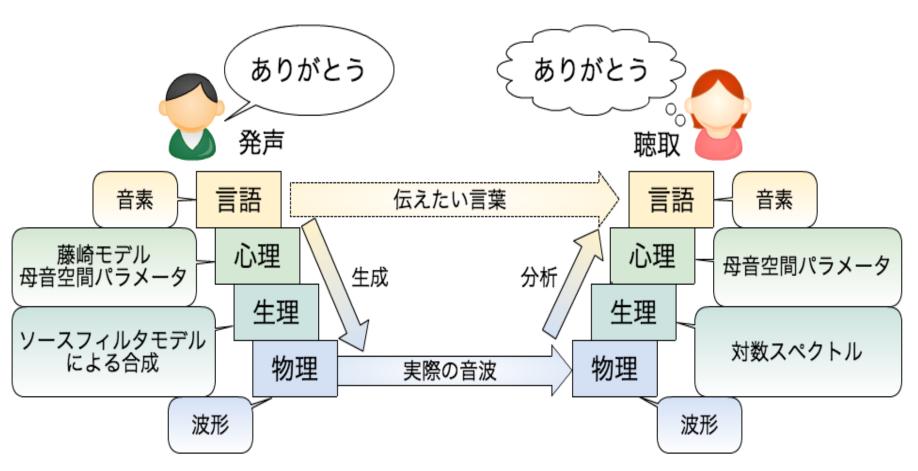
a) Waveform: level, broken, and drop tones

音声言語獲得のモデル

• 2016 JSA ASA Joint meeting, Hawaii, USA GAを用いた音声合成



単語音声獲得のモデル

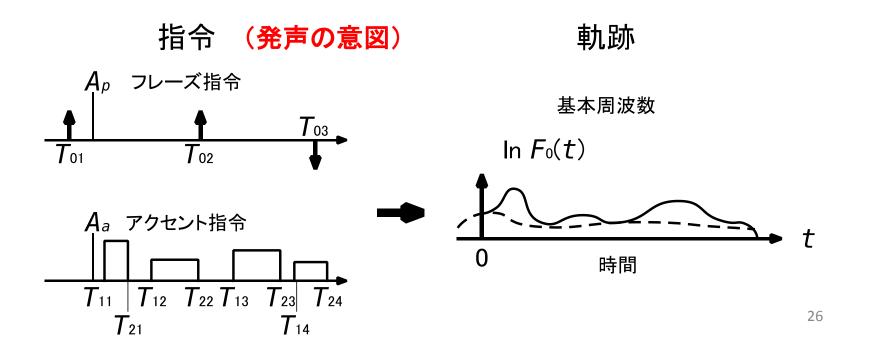


物理 <一> 言語

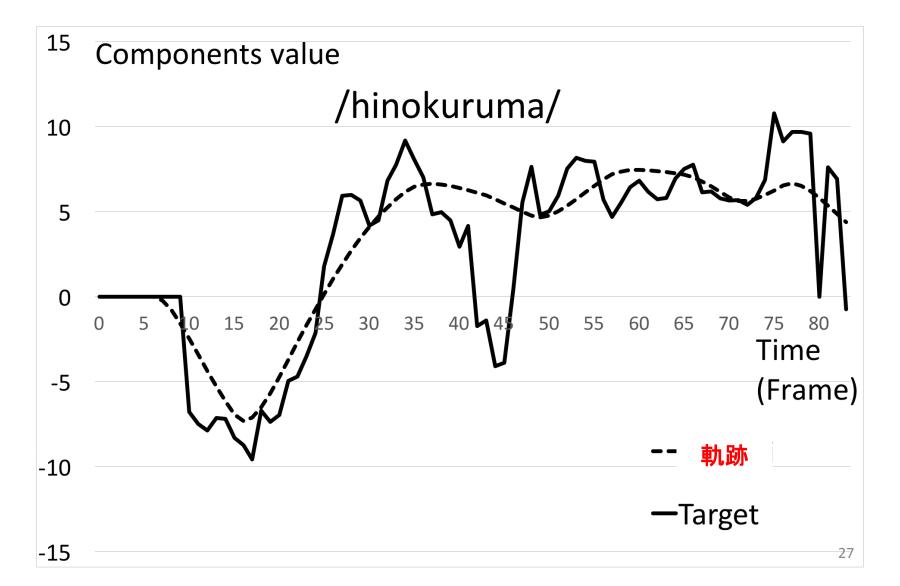
(客観的世界) <-> (内的世界)

音声生成のモデル ~藤崎モデル~

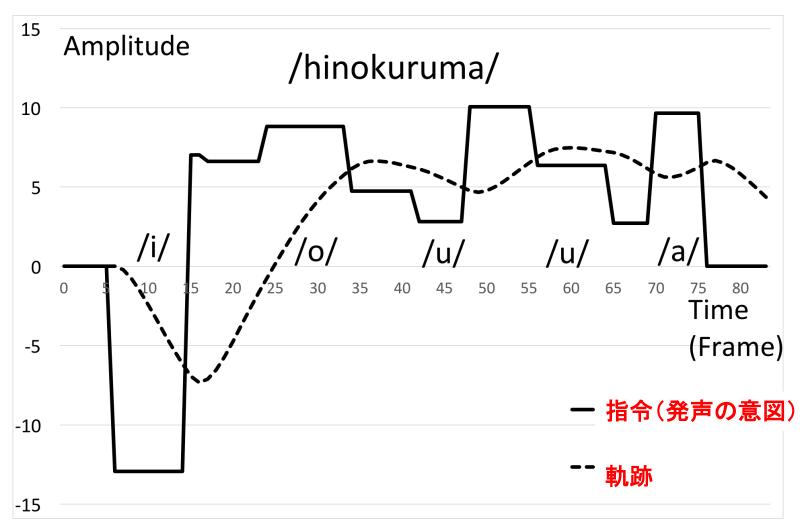
- ・音声生成における音源の基本周波数の時間パターンを 精度良く近似する有効なモデル
- 音源情報の模倣のモデルではフレーズ成分とアクセント 成分を使用
- スペクトルの模倣のモデルではアクセント成分を使用



単語の母音空間パラメータ

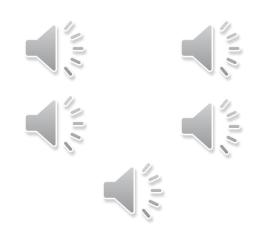


模倣による単語音声の獲得モデル(2) ~藤崎モデル~



音声デモ

- -第0世代
- -第3世代
- •分析合成音





お父さんの声







音声言語処理の教育

ISBN978-4-89742-175-9 C0240 ¥800E

定価:800円+税

琉球新報社



音声言語処理の専門家が案内する 音とことばの世界

音楽の美しさが世界共通なのはどうして? 琉球語(沖縄の方言)と日本語は本当に違うの? ヒトの発声の仕組みは? ヒトはなぜことばを話したり聴いたりできるの? 動物はことばを聞き分けるの?

音とことばの実験室

音とことばの 実験室

高良 富夫



本書の主な内容

第 I 部 音と話しことば

音の物理的・生理的・心理的・言語的側面の話

第Ⅱ部 琉球のことば

日本語の中ではだいぶ変わっていて、言語学的にと ても興味深い琉球語の話

第Ⅲ部 人間と言語

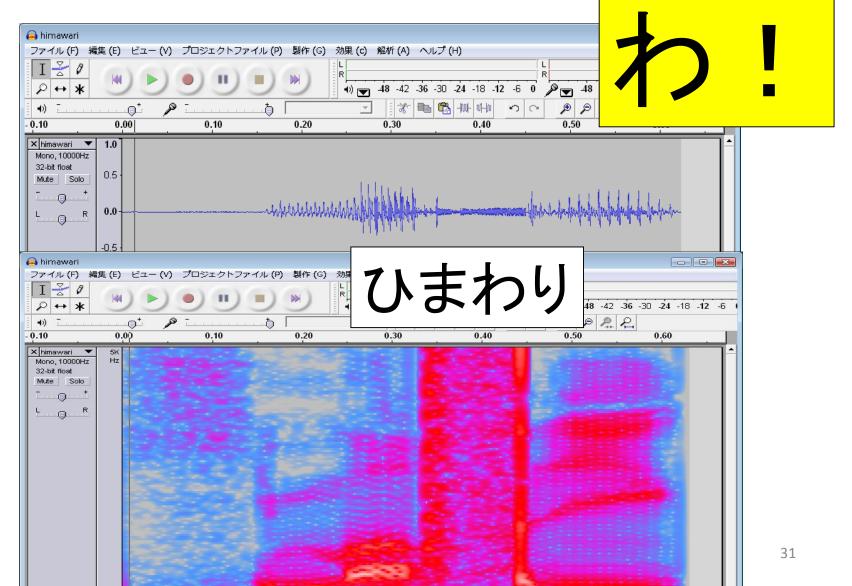
ことばの意味、言語の獲得など、言語と人間の本質 に関わる話

沖縄は言語の ガラパゴス!?

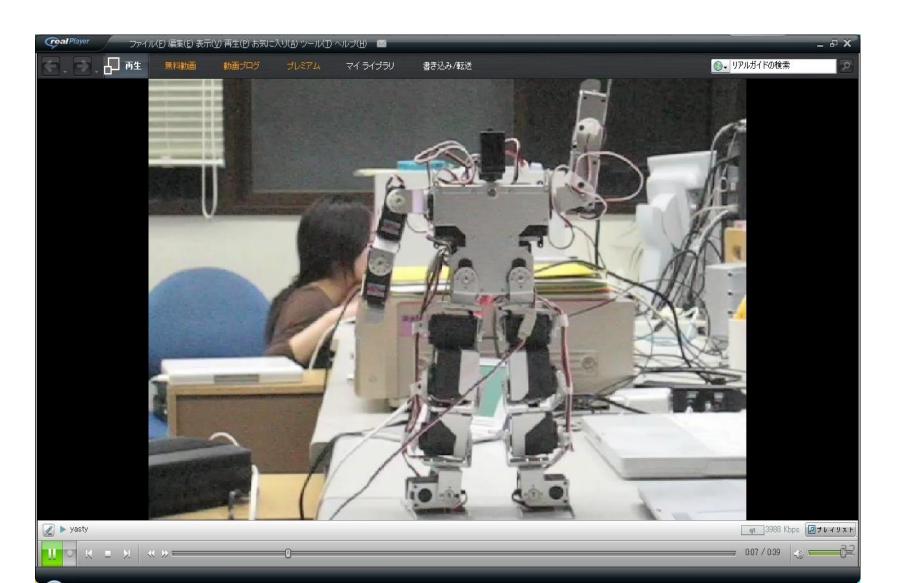
科学の立場から音とことばの仕組みを 解き明かす傑作ショート・コラム

琉球新報社

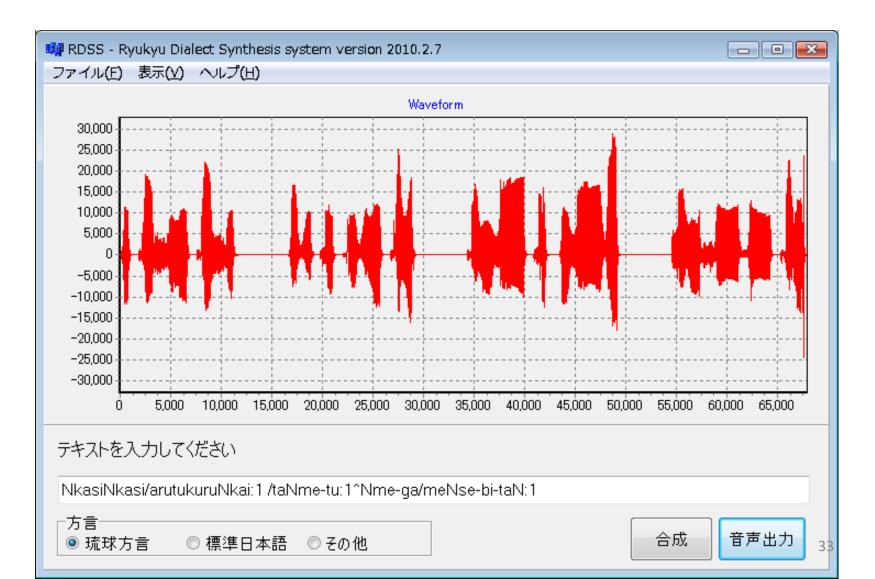
<実験>音の記憶の不思議



くデモン声でロボットに 命令する



<mark>く実験></mark>RDSSを用いたテキスト 音声合成



く実験>

音声合成スペクトルエディタ

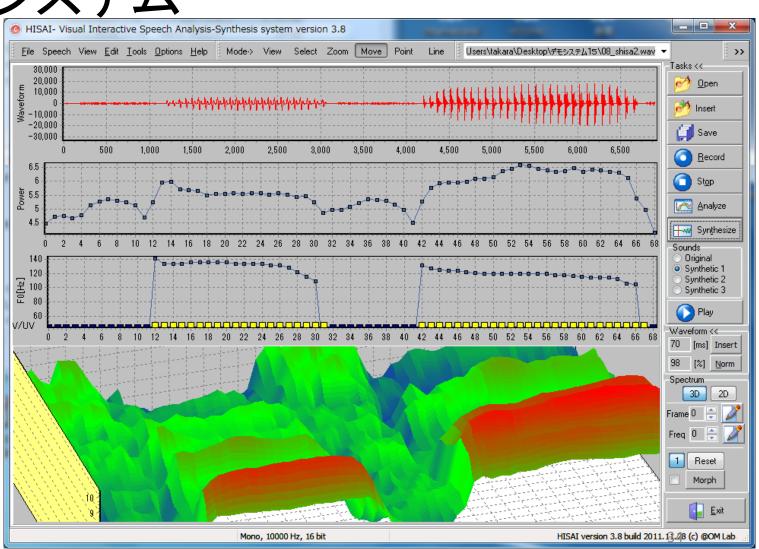
HISAIシステム

波形

音圧

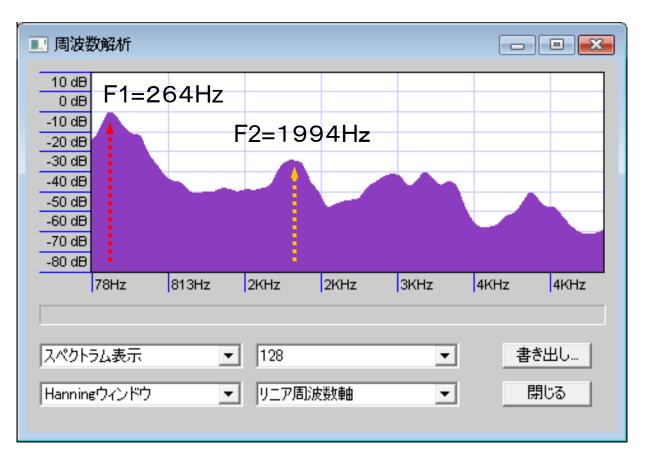
基本 周波数

スペクトル 包絡



母音の音色の元になるフォルマント

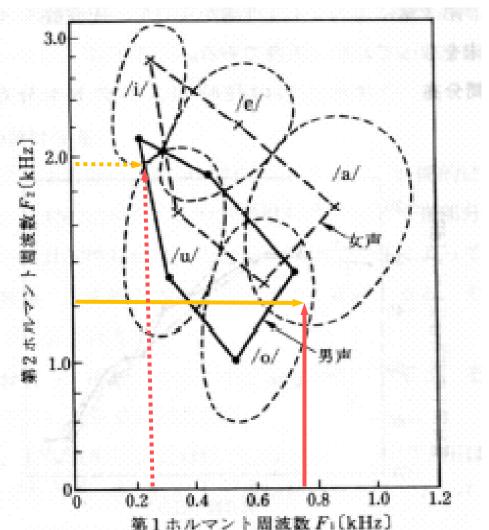
フォルマント: スペクトルの山(ピーク) /i/



日本語母音の周波数スペクトルの一例

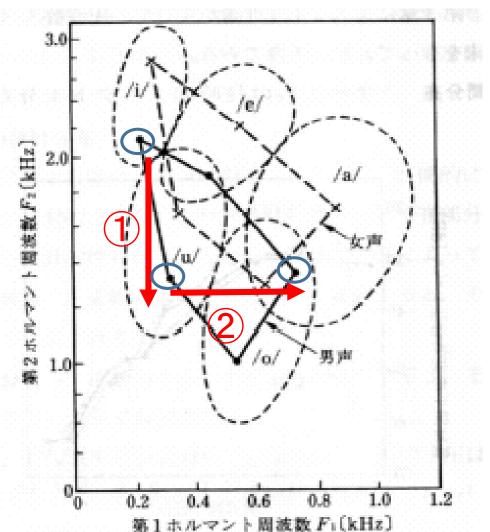
HISAIシステムを用いた 母音の生成

母音のフォルマント

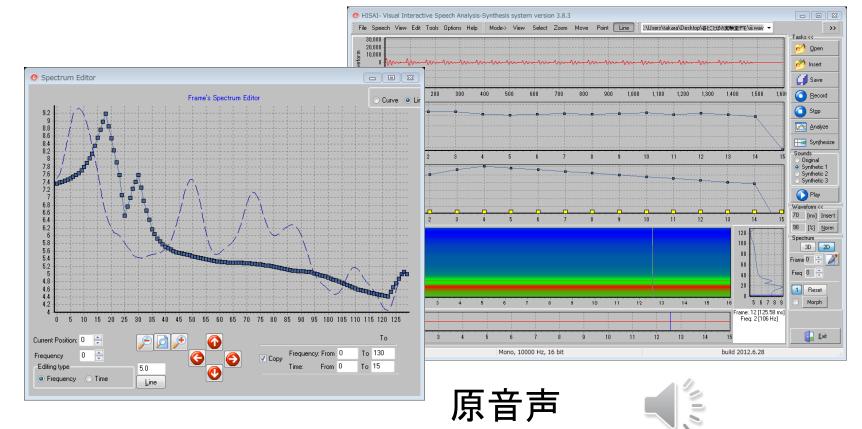


HISAIシステムを用いた 母音の生成

母音のフォルマント

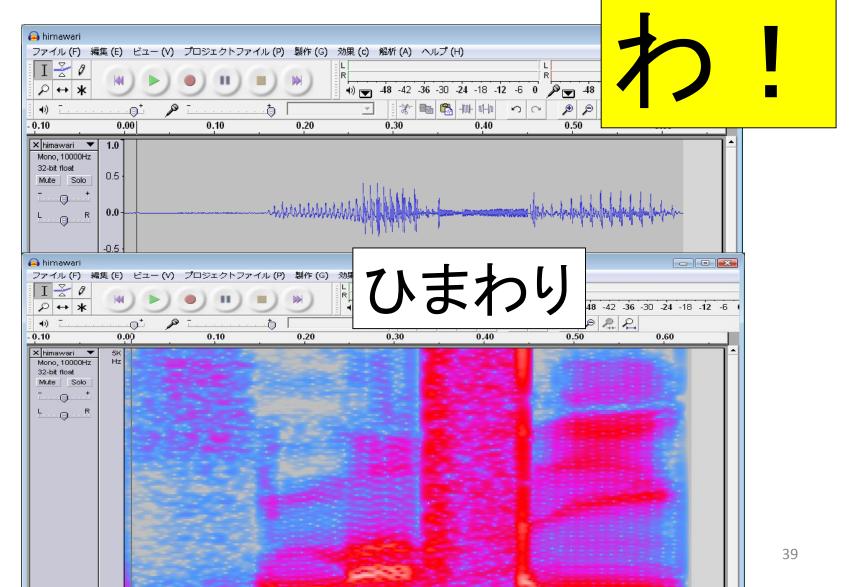


く実験〉 母音を創る



- /i/->第2フォルマントを低くする
- /u/->第1フォルマントを高くする

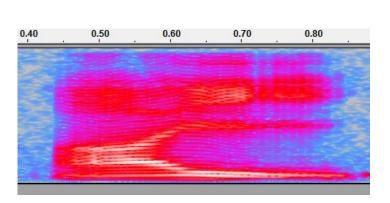
音の記憶の不思議

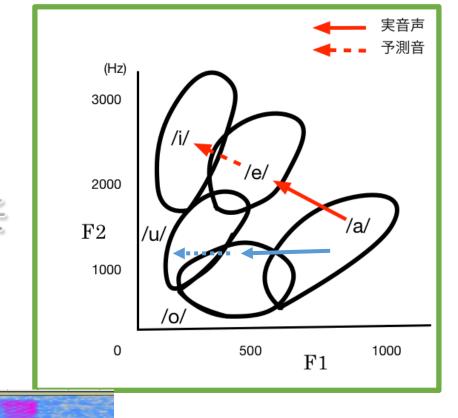


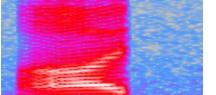
調音結合の逆処理

- ・人間は音声から変化先を 予測し聞いている
- /ai/の例:物理的に存在 しない音が聞こえる

[aaaaeiiii] -> [aaaae____] /aaaaii/





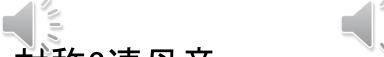


音声資料

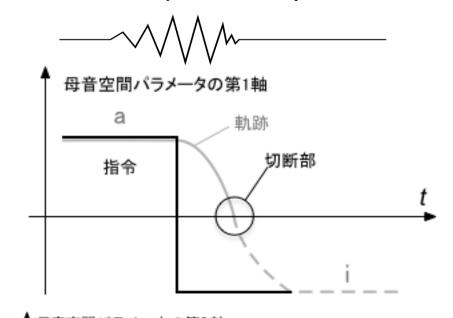
a i,

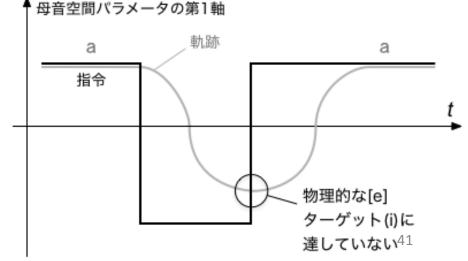
- 存在しない音が聞こえる
- ・切断した2連母音(正聴率)
 - /ai/(63%), /ia/(82%),
 /au/(97%), /ua/(92%),
 /iu/(100%),/ui/(51%)

/himawari/

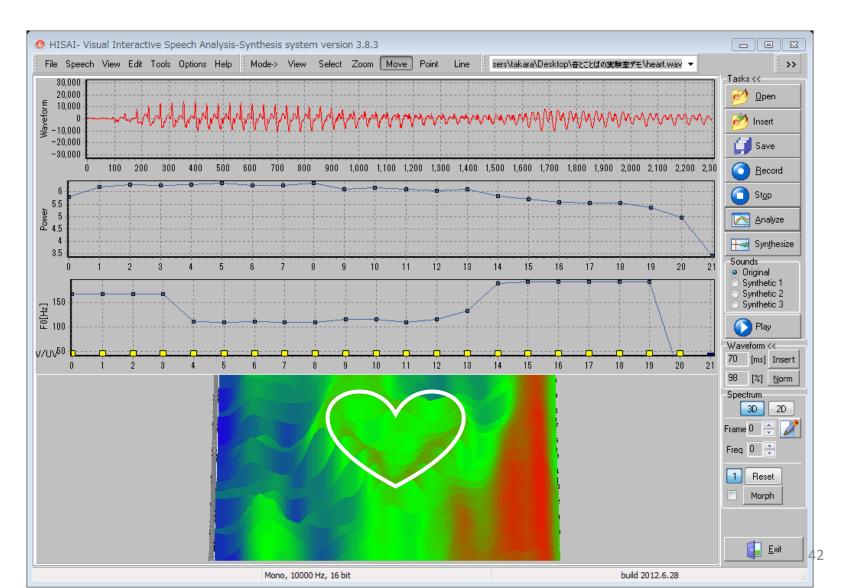


- 対称3連母音
 - /aia/, /aua/, /iui/
 - 真ん中の母音が ターゲットに達していない





く実験>ハートのこもった音声

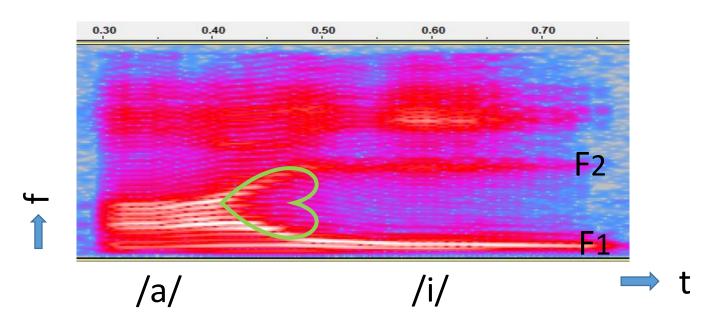


ハートは/ai/です

- /a/: 第1フォルマントは高く、第2フォルマントは低い
- /i/: 第1フォルマントが低く、第2フォルマントが高い

スペクトルの図





まとめ

- ・琉球大学における35年間の音声言語処理の研究とその教育への応用について述べた。
- その始まりは、高校時代の共振振り子だった。
- 故郷の琉球語に関して貢献できたことは幸せであった。
- 生徒・学生時代からの勉強法の方針であった「改善による向上」を、音声研究においても遺伝的アルゴリズム(GA)で実現できた。
- ・内的世界 <-> 客観的世界について
- 皆様のおかげです。ありがとうございました。

コンピュータ琉球語で:

gusuujoo iQpee^nihee:1deebitaN

